

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】 子どもの自己肯定感と自己有用感を高める教育の推進

○主体的に学ぶ意欲を高め確かな学力を育む教育の推進 ○人間力を育む教育の推進 ○地域のよさを生かした特色ある教育の推進

【学校 目標】 MAICHU BASE(幸せ発信基地) 利他共生 ウェルビーイング

★人を幸せにする活動をする事は、周りや自分の幸せにつながる
 ○人や地域、社会に貢献できる生徒を育てる ○自ら考え、判断し、行動できる生徒を育てる
 ○探求心をもち主体的に学ぶ生徒を育てる ○自分や仲間の人権を大切にしている生徒を育てる

【現状と課題】

○視点1 子どもたちが主体の授業づくり <生徒の自己肯定感を高める>
 探求的な活動を通して、深い学びを実現する授業作りをめざす。
 ○視点2 学びを支え合う集団づくり <生徒の自己有用感を高める>
 互いに支え合い、高め合い、認め合える集団作りを実現する。
 ○視点3 協働して取り組む学校づくり <生徒の自己肯定感・有用感を高める基盤づくりに努める。>
 コミュニティスクールと地域学校協働活動を推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てる。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
 ※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①探求的な活動を通して深い学びを実現する授業作りをめざす。 ②本時のねらいや流れを明確にする。 ③振り返りを通して、わかったことを明確にし、次への展望を持たせる工夫する。	①各教科の授業評価の平均値 学校評価(生徒)		
	②本時のねらいと授業の流れを示した授業を心がけている。 評価(職)		
	③学校は授業を工夫して学力向上に努めている。 学校評価(保護者)		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「考え、議論する」道徳の指導の充実を図る。 ②いじめや差別的な言動のない学校作りを行う。	①道徳の時間は自分を振り返ることができている 評価(生徒)		
	②いじめはどんな理由があっても絶対にいけない。 評価(生徒)		
	②生徒はいじめはどんな理由があっても絶対にいけないと思っている 評価(職)		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①自主、自発的な生徒会活動の促進を行う。 ②コミュニティスクールを推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てるため、地域の人材等の活用を積極的に行う。	①米原中の生徒会活動は、私たちの誇りである。 評価(生徒)		
	②「学校は家庭や地域との連携を大切にしている。 評価(保護者)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- 家庭学習の充実と、個に応じたきめ細かな指導、助言を行う。(通年)
- MGK(米原学習教室)として、毎週水曜日に地域で活躍する大学生ボランティアや長期休業中に豊かな経験を持つ退職教員を活用した学力補充を進め、定期テスト直前対策学習会や入試直前対策講座によるフォローアップに努める。(通年)
- 生徒会ラブプロジェクト(福祉ボランティア活動)の継続・発展に努め、積極的なボランティア活動の機会を、地域や社会に貢献する意識を醸成。(6月・7月)
- 総合学習を軸に地域の方の協力のもと農園活動を行い、収穫祭などを開催する。(11月)

今年度の取組の成果と課題

--